

二〇二四年度B方式入学試験問題 二時限目 国語

二月六日

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないこと。
- 二、監督者の指示に従い、別紙解答用紙の所定欄に氏名、受験番号を記入すること。さらに受験番号の下のマーク欄に受験番号をマークすること。
- 三、解答はすべて、解答用紙の解答欄にマークすること。
- 四、試験時間は六十分、問題は19ページ。

マーク記入上の注意

- (1) 解答欄にマークするときは、HBの黒鉛筆でつぎの正しい例のように濃く正確にぬりつぶすこと。解答は、該当の解答番号の解答欄にマークすること。例えば、解答番号 **10** の問に対して、
- (2) ②と解答する場合は

10	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

のようにマークすること。

悪い例

5	4	3	2	1
①	①	①	①	①
②	②	②	②	②
③	③	③	③	③
④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

○印でかこむ。

中身をぬりつぶしていない。

レ印をつける。

一印をつける。

一欄に二つ以上マークする。

このような記入をしてはいけない。

- (3) 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおすこと。

1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

のように×印をしても消したことになる。

- (4) 解答用紙を折りまげたり、破ったり、また汚したりしないこと。

第一問

左は、稲田豊史『映画を早送りで観る人たち ファスト映画・ネタバレ——コンテンツ消費の現在形』の一節である（ただし、一部改変した）。これを読んで、後の問いに答えよ。

若者動向の話で必ず言及しなければならないトピック、それが「オタクに憧れている」件である。

少くない数の若者たちが、「何かについてとても詳しいオタクに憧れている」にもかかわらず、「膨大な時間を費やして何百本、何千本もの作品を観たり読んだりすることを嫌う」という。

ア

オタクが社会から忌み嫌われていた時代を知る、そしてオタクが一般的な社会生活を放き^アても対象に時間と愛をつぎ込む存在であるという認識の年長者にとって、これほど胸をざわつかせる報告はなからう。

まず、「若者はなぜオタクに憧れるのか」から考えてみたい。そこには、彼らが受けてきた「個性的でなければならない」という世間からの圧が厳然としてある。その象徴が、S M A Pの『世界に一つだけの花』（2003年シングル発売）の歌詞で言うところの「ナンバーワンよりオンリーワン」だ。この曲は「個性を大事に」と言われて育ったゆとり世代（諸説あるが、ここでは概ね1987年から1990年代半ば生まれとする）が多感な頃に発表され、彼ら以降の世代の価値観と時代の気分を過不足なく表したことで、歌い継がれる名曲として歌謡史に名を残した。

しかし、そのような価値観は彼らを呪縛もする。

「ゆとり世代は、東京に出てきてそこそこの大学に行って、そこそこの会社に入る人生では足りていないのではないか、と思いつくようになりました。『個性的じゃなきゃダメ』だという価値観が、多くの若者たちの間でプレッシャーになったんです」（博報堂D Yメディアパートナーズ メディア環境研究所 森永真弓氏）

本来、個性の尊重は、競争社会や学歴主義に対するオルタナティブ（代わりとなるもの）として生まれた、「みんなに優しい価値観」のはずだった。にもかかわらず、「個性的であれ」という外圧が彼らを苦しめるとは皮肉だ。

彼らにとっての個性は、特徴というよりマストスキルであり前提条件。なければお話にならない基本能力のようなもの。

実際、多くの大学生が「個性的でなければ就活で戦えない」と感じている。履歴書に胸を張って書けるだけの「武器」が欲しい。「本来は、その人がその人であるだけで立派な個性なのに、〃無理して個性を作らなければならない〃と焦っている」（森永氏）

しかもその個性とは、特定の教科が得意だとか、多少英語が話せる程度では足りない。一昔前や二昔前には趣味として定番だった「映画鑑賞」「読書」「音楽鑑賞」「スポーツ」などは、論外中の論外だ。

ヒアリング時、ちょうど就活中だったIさんはこれに大きく同意した。

「面接はもちろん、エントリーシート上でも人とは違う自分を見せなきゃいけないじゃないですか。自分らしさってなんだろう、自分しかできないことってなんだろうって、すごく考えるようになりました」

Iさんは幼少期からバレエを習っているので、エントリーシートにはそう書くことにしている。ただ、新しい人と出会って自己紹介をするときには、バレエよりもっと別の個性があったほうがいいと感じるそうだ。

それを聞いて不思議に思った。バレエは十分に希少価値のある個性ではないか。誰もが誰も、バレエを習っているわけではないし、習えるわけではない。

しかし、それがダメなのだ。

「バレエを習つてると言ったところで、『ずっと習ってるんだ、すごいね』で、それ以上話が膨らまないんですよ」
要するに、それについて知っている人、馴染みのある人が少ない個性は、個性としてコスパが悪い。バレエのなんたるかについて知る人の絶対数が少ないため、「あの振付、難しいよね」などというコミュニケーションに発展しないからだ。

「ジャニーズ好きとか、映画とか、普通のエンタメのほうが、話題としてはよっぽど盛り上がりやすい」

個性的すぎる個性は、個性として機能しない。

「ナンバーワンよりオンリーワン」の洗礼を受けたゆとり世代以降で、注目したいのが「Z世代」だ。

Z世代の定義も諸説あるが、概ね1990年代後半から2000年代生まれ、2022年時点で10代後半から20代半ばくらいまでの若者を指す。

C

Z世代は1960～1970年生まれのX世代、1980～1990年生まれのY世代（ミレニアル世代）に続く世代。Y世代が「デジタルネイティブ」、つまり社会人になる前からインターネットやパソコンのある環境で育ってきた世代であるのに対し、Z世代は「ソーシャルネイティブ」と呼ばれる。

ソーシャルとはソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）のこと。10代前半からスマホでLINEやインスタグラムやTwitterに親しんできた世代である。

Z世代のおもだった特徴としてよく挙がるのが、以下の項目だ。

- ① SNSを使いこなす
- ② お金を贅沢ぜいたくに使うことには消極的
- ③ 所有欲が低い（モノ消費よりコト消費）
- ④ 学校や会社との関係より、友人など個人間のつながりを大切にする
- ⑤ 企業が仕込んだトレンドやブランドより、「自分が好きだから」「仲間が支持しているから」を優先する
- ⑥ 安定志向、現状維持志向で、出世欲や上昇志向があまりない
- ⑦ 社会貢献志向がある
- ⑧ 多様性を認め、個性を尊重しあう

倍速視聴や10秒飛ばしの遠因に関連付けられそうだ。

①④⑤はLINEグループの

a

が、②③はDVDやCD

をはじめとしたパッケージコンテンツの所有欲が低くサブスクで済ませようとする気質が連想される。

マーケティングアナリストの原田曜平^{はらだようへい}は、ゆとり世代とそれに続くZ世代との違いについて、「SNSで叩かれたくないという『同調圧力』と『防衛意識』が強かった思春期時代の『ゆとり世代』と、周りから心象が悪くならない範囲で、SNS上で周りと同程度に自己アピールしたいという『b』と『発信意識』が強いZ世代」と分析している。

Z世代は、ゆとり世代と同じくLINEグループなどで和を乱さない意識が常に働いているが、それに加えて発信欲もあるのだ。

そうなった背景については、1994年生まれ、ゆとり世代のインフルエンサー・ゆうこす^{すがもとゆうこ}（菅本裕子氏）の言葉が参考になる。「私たち（ゆとり）世代が若い時に使っていたmixiやフェイスブックは、『人とのつながり』を重視するメディアでした。

しかし、そこで過度に人とつながったことで、『c』『するユーザーが続出しました。その反動で、私たちより下の世代（Z世代）は、つながりよりも『発信すること』がメインのツイッターやインスタグラムが主軸になっていたんです」

盛り上がっている話題を邪魔にならないようにただぼーっと聞いてはいけけない、傍観者に徹してはいけけない。既読スルーなどもつてのほか。積極的に参加し、気の利いた一言で場を盛り上げる、かき回す。もしくは、多くの人がついてこられる程度の個性的すぎない個性を積極的に発信すべし――。

Z世代の親世代が大学生だった1980年代や1990年代に、「個性的であれ」というプレッシャーは今ほど大きくなかった。むしろ「多数派に属する」ことで心の平穏を得ていた若者は多かった。

イ

世の中でもっとも多数を占める集団に属していれば、あるいはそういう嗜好を自分に固定させていけば、大きく間違ふことはない。皆が投票する政党に投票し、皆が食べるスイーツを食べ、皆が観るドラマを観る。人気ランキングは上から順に手に取る。皆が「いい」と言っているものだから、外れは少ないはず。仮に外れても、皆が一斉に恥をかくのだから、恥ずかしくはない。

皆で愚痴を言えただけのこと。

「多数派に属する」という選択は、多くの若者たちにとって「安心」だったのだ。

ところが、現在ではカルチャーシーンから多数派（メジャー）が消えてしまった。ナンバーワンよりオンリーワンが価値観の多様化を促進した結果、趣味や趣向の島宇宙化^Dを招き、「圧倒的多数の、みんなが好きなもの」が激減してしまったのだ。

「昔は、仮に自分が無個性・普通ではあっても、『クラスの大体の女の子が好き、クラスの大体の男の子が好き』なものがあって、それさえ押さえていれば、圧倒的多数のメジャーに属しているという安心感を持ってました。昭和末期から平成前半の女の子たち人気で言えば、光GENJI、安室奈美恵^{あむろなみえ}、浜崎あゆみ^{はまさき}など」（森永氏）

筆者が属する団塊^①ジュニア世代の男性で言えば、『キン肉マン』『ドラゴンボール』『SLAM DUNK』といったところか。

遡^{さかのぼ}れば、昭和40年代（1965～1974年）には「巨人・大鵬^{たいほう}・卵焼き」という流行語があった。当時の子供たちの誰もが好きなものの代名詞だ。王貞治^{おうさだはる}・長嶋茂雄^{ながしましげお}のON砲でジャイアンツが日本シリーズ9連覇。優勝回数32回という驚異的な強さを誇った横綱・大鵬の大人気。砂糖を使った甘い卵焼きが庶民の食卓に登場して子供たちの好物となったのも、この頃である。

普通の子供たちが全員「好き」なものが、かつての日本には存在した。しかし、今はそれが非常に少ない。趣味も嗜好も多種多様。細分化している。

ウ

「『普通』が失われてしまったんです。結果、無個性だどこにも属せず、とても不安を感じる。その不安に駆られて、無理をしても『趣味を持たなきゃ』『好きなことを見つけて打ち込まなきゃ』と焦る」（森永氏）

本来、趣味も好きなこともやりたいことも、自然に湧き上がってくるのを待てばいいはずだが、彼らはユウ長^②にそれを待つことができない。なぜなら、インターネット、特にSNSからは、すでに名前や顔が売れている同世代のインフルエンサーたちに

よるキラキラした個性的なふるまいが、嫌でも目に入ってくるからだ。

学生のうちからPVを稼ぎまくるブロガー。イラストに「いいね！」^(イ)がつきまくるアマチュア絵師。ハク識^{あが}を極めた結果、崇められるガチオタ（本気のオタク）。キラキラした交友関係を^(オ)コ示する学生起業家……そんな“個性的”な彼らと“無個性”な自分を比べ、焦らないはずがない。

ミレニアル世代やさらに上の世代が“ライバル”の対象とするのは、教室や職場で視界に入る人たちだけだった。しかしZ世代はSNSで有名な同世代というだけでライバル対象となる。

「今の大学生たちは『知らない人でも全然ライバル対象になります』とはつきり言っています。私が大学生だった5年前もSNSは使っていましたが、自分とまったく接点のない子までライバル視する意識は、周囲も含めてあまりなかった」（メディアプラットフォーム「note」で「ワカモノのトリセツ」を運営する ゆめめ氏）

エ

たった5年で、状況は大きく変わったのだ。

「ハマれる趣味を、どうやって探せばいいですか？」

「好きなことを、どうやって見つければいいですか？」

「やりたいことが見つかりません。どうすればいいですか？」

彼らの不安は、ネット上でよく見かけるこのような相談の形で現れる。親切なインフルエンサーやオンラインサロン主が、その相談相手や受け皿になっているのは周知の通り。

属するだけで安心できていたメジャーが消えた状況下、彼らが探しているのは拠りどころだ。自分が属しているだけで楽しいと思える場所。「それがオタクという属性です。オタクって、はたから見えて、すごく楽しそうじゃないですか」（森永氏）

それが、「若者がオタクに憧れている」の正体だ。ただ、オタクと言ってもハク識を旨とするような研究系のオタクではない。アイドルやアニメのキャラクター、あるいはクリエイターの「推し活動」をしているオタクだ。

「推し活動をしているオタクはすごく輝いているから、自分もあなりたいと切望する。もしそうなれて、オタクという属性を手に入れられれば、結果的に自分は『個性的』にもなれる、と捉えている」(森永氏)

不安も解消できるし、個性も手に入る。

E

だ。ただ、目的とプロセスが逆になってはいないか。

従来のオタクは、何かが好きすぎるあまり、大量に観たり読んだりする。その結果、他のジャンルが気になってきて興味が広がり、さらに大量に見たり読んだりして、好きなものへの理解をどんどん深め、その過程を楽しむ。SF作品をきっかけにして物理学に興味を持ったり、ファンタジー作品への理解欲求が宗教や神話を学ぶことにつながったりする。そうして、充実したオタク生活を満喫するのだ。

オ

つまり正確に言えば、彼らは「オタクになりたい」のではなく、「掘りどころになりうる、好きなものが欲しい」だ。それが個性的な自分を手に入れる切符となり、同時に実利的な効果も得られる。「もっと正直に言うなら『自己紹介欄に書く要素が欲しい』ですね」(森永氏)。エントリーシートの見栄えを良くするために、ボランティア活動に参加したり、サークルの幹部をやったりするのと同じだ。

現在の若者は、「好きなものや、打ち込めるものがない」という状態を、1秒でも早く脱したい。「高校2年くらいまでに、親や学校から『やりたいことや興味があることを絞れ』って言われまわりますから。昔の若者は、彼氏や彼女のいないことがプレッシャーでしたが、今の若者は打ち込める趣味や好きなことがないこと、つまり『Fがプレッシャーになっています」(森永氏)

なにやら、「好きな人はいないけど、早く結婚したい」の類いに通じるものがある。あるいは、「今やりたいことはないけど、何かはしたい。だからこのサロンに入会しました」のほうが近いだろうか。

問1 次の一文が入る最も適切な箇所を、空欄アからオの中から選べ。

1

しかしオタクに憧れる若者たちは、拠りどころとしての〃充実したオタ活（推し活動）〃を手に入れることを、まず目的に設定する。

- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ ⑤ オ

問2 傍線部Aについて、筆者が考える理由として、最も適切なものを次から選べ。

2

- ① 普通が失われた現代社会において、他の人とは違う特別感を味わうことができるから
② 一般的な社会生活から離れ、好きな対象に時間と愛をつぎ込んでいるから
③ 興味のある分野において自らの知識が増えていくプロセスが楽しいから
④ 興味のある分野においてハク識を極めることで周りの尊敬を得ることができるから
⑤ 属するだけで安心できる拠りどころと個性の両方を手に入れることができるから

問3 傍線部Bについて、その理由として、最も適切なものを次から選べ。

3

- ① 就職活動のエントリーシートに記載する際は、より仕事に直結した趣味が求められるから
② 新しい人と話を盛り上げるためには、お互いが良く知る話題の方が機能するから
③ ゆとり世代の若者は、あまり目立ち過ぎる個性は望ましくないから
④ バレエよりもっと馴染みのある人が少ない、希少価値のある個性のほうに関心を持ってもらいやすいから
⑤ お金を贅沢に使うことに消極的なZ世代にとって、バレエのようなお金のかかる趣味は周りから共感を得られないから

問4 傍線部Cのうち、Y世代とZ世代の特徴について、最も適切な説明を次から選べ。

4

① 10代前半からSNSに親しみ「デジタルネイティブ」と呼ばれるZ世代、「ソーシャルネイティブ」と呼ばれ、社会人になる前からインターネットのある環境で育ってきたY世代に区分される。Y世代は情報発信力、Z世代は同調圧力の強さが特徴である

② 10代前半からSNSに親しみ「ソーシャルネイティブ」と呼ばれるZ世代、「デジタルネイティブ」と呼ばれ、社会人になる前からインターネットのある環境で育ってきたY世代に区分される。Y世代が主に使用したメディアはツイッター、Z世代がよく使用するメディアはインスタグラムという特徴がある

③ 10代前半からSNSに親しみ「ソーシャルネイティブ」と呼ばれるZ世代、「デジタルネイティブ」と呼ばれ、社会人になる前からインターネットのある環境で育ってきたY世代に区分される。Y世代は人とのつながりを重視し、Z世代は同調圧力の強さが特徴である

④ 10代前半からSNSに親しみ「ソーシャルネイティブ」と呼ばれるZ世代、「デジタルネイティブ」と呼ばれ、社会人になる前からインターネットのある環境で育ってきたY世代に区分される。Y世代は人とのつながりを重視し、Z世代は発信意識の強さが特徴である

⑤ 10代前半からSNSに親しみ「デジタルネイティブ」と呼ばれるZ世代、「ソーシャルネイティブ」と呼ばれ、社会人になる前からインターネットのある環境で育ってきたY世代に区分される。Y世代は同調圧力が強く、Z世代は発信意識が強いという特徴がある

問5 空欄aからcに入る言葉の組み合わせとして、最も適切なものを次から選べ。

5

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|------|---|--------|
| ① | a | 共感強制力 | b | 同調志向 | c | SNS疲れ |
| ② | a | 情報感知力 | b | 同調圧力 | c | SNS疲れ |
| ③ | a | 共感強制力 | b | 同調圧力 | c | 多数派に所属 |
| ④ | a | 共感強制力 | b | 同調志向 | c | 多数派に所属 |
| ⑤ | a | 情報感知力 | b | 同調志向 | c | SNS疲れ |

問6 傍線部Dとはどういうことか。最も適切なものを次から選べ。

6

- ① ファンタジー作品への興味をきっかけにスピリチュアルな知識を求める人たちのこと
- ② 対象に膨大な時間と愛をつぎ込む本当のオタクたちが集う空間のこと
- ③ 社会全体で共有できる価値観が少なくなり、趣味や趣向が細分化された小グループが林立する状況のこと
- ④ 教室や職場というリアルの場合ではなく、インターネットやSNSでつながった空間のこと
- ⑤ 普通が失われていく社会において、突き抜けた個性を持った人が集まる空間のこと

問7 空欄Eに入る四字熟語として、最も適切なものを次から選べ。

7

- ① 一石二鳥
- ② 本末転倒
- ③ 一攫千金かく
- ④ 百花繚乱りょうらん
- ⑤ 快刀乱麻

問 8

空欄Fに入る言葉として、最も適切なものを次から選べ。

8

- ① 推しがないこと
- ② スタートラインに立てないこと
- ③ 真のオタクになれないこと
- ④ 行動力が足りないこと
- ⑤ 語り合える友人がないこと

問9

次のaからdを読み、本文の内容に合致しているものは○、そうでないものは×として、その最も適切な組み合わせを①から⑤の中から選べ。

9

a 1980年から90年頃は、「大体の人が好きなもの」が存在したことで、普通であることに不安を抱くことは少なかったが、現代の若者は、社会全体の共通の価値観が失われたことで無個性であることに不安を駆り立てられるようになった

b 本来その人がその人であるだけで立派な個性であり、「個性を大事に」と言われて育った現代の若者は、多様性が認められた生きやすい時代を生きている

c 生まれたときからインターネットのある環境で育ったZ世代の若者は、SNSを使いこなすことで、もっぱら多くの情報を発信することに関心がある

d 一般的な社会生活を捨ててまで対象に時間と愛情を注ぎ、没入できる研究系のオタクの存在は、好きなものや、打ち込めるものを求める現代の若者にとって憧れの存在である

①	a	○	b	×	c	○	d	○
②	a	○	b	×	c	×	d	×
③	a	×	b	○	c	○	d	×
④	a	○	b	×	c	○	d	×
⑤	a	×	b	○	c	×	d	○

問
10

本文全体を通して、筆者の主張と合致するものはどれか。最も適切なものを次から選べ。

10

- ① オタクに憧れるZ世代の若者は、オタクという属性を手に入れるというゴールを優先する傾向がある。従来のオタクと比べて、目的とプロセスは逆転しているが、長期的には従来型のオタクに集約されていく
- ② みんなと一緒にであるということと安心感を得ていたX世代に対して、個性的である自分を得ることで心の安定を獲得できるZ世代との間で起きる世代間のディスコミュニケーションは深刻な社会問題になっている
- ③ どの時代においても新しいメディアが若者の文化に影響を与えている。現代を生きるZ世代の若者にとっては、SNSの影響が非常に大きく、同調圧力と防衛意識によるSNS疲れが大きな社会問題になっている
- ④ Z世代の若者は、個性を手に入れなければならないというプレッシャーの中で生きている。「映画鑑賞」「読書」「音楽鑑賞」「スポーツ」といった定番のものではなく、希少価値のある個性であればあるほど望ましいと考えている
- ⑤ オタクに憧れていると指摘されるZ世代の若者は、年長者の認識するようなオタクを目指しているのではなく、打ち込める趣味や個性的な自分を手に入れることを求めている

問11 文中の二重傍線部⑦から⑩のカタカナ部分と同じ漢字を用いるものを次から選べ。

11

⑦ 放キ

① 地裁は訴えをキ却した

② 悪政に民衆は蜂キした

③ 偉人のキ跡をたどる

④ 法令とキ範を遵守する

⑤ 禁キを犯して追放された

⑧ 団カイ

① 天使と悪魔の境カイ線

② 数人で金カイを運んだ

③ 生き方に正カイなんてない

④ 契約更カイの時期がきた

⑤ 総カイの議事録をまとめた

13

⑨ ユウ長

① ユウ慮すべき事態になる

② 海から川へ回ユウする

③ ユウ雅な暮らしに憧れる

④ ユウ々自適に暮らす

⑤ ユウ給休暇を取得する

14

⑥ ハク識

① 実力ハク仲の好勝負だ

② 軽ハク短小なお人柄だ

③ ハク来品に詳しくなる

④ 強ハク観念にとらわれる

⑤ ハク覧強記な人物だ

15

⑩ コ示

① 時代にコ応した教育

② コ張した表現が目立つ

③ 監督就任をコ辞する

④ コ客のニーズをつかむ

⑤ コ独をいやす方法

第二問 左は、鎌倉時代の説話集『宇治拾遺物語』の一節である（ただし、一部改変した）。これを読んで、後の問いに答えよ。

今は昔、小野篁おののたかむらといふ人おはしけり。^A嵯峨帝さがのみかどの御時おんときに、内裏だいりに机ふだを立てたりけるに、「無悪善」と書きたりけり。帝、篁に、「読め」と仰せられたりければ、「読みは読み候ひなん。されど恐れにて候へば、え申し候はじ」と奏そうしければ、「ただ申せ」とたびたび仰せられければ、「さがなくてよからんと申して候ふぞ。されば君を呪のろひ参らせて候ふなり」と申しければ、「おのれ放ちては誰たれか書か」^Fと仰せられければ、「さればこそ、申し候はじとは申し候ひ」^Gと申すに、御門みかど、「さて何も書きたらん物は読みてんや」と仰せられければ、「何なににても読み候ひなん」と申しければ、片仮名の子文字なにもじを十二書しふにかせて給ひて、「読め」と仰せられければ、「ねこの子のこねこ、ししの子のこじし」と読みたりければ、御門みかどはほゑませ給ひて、^I事なくてやみにけり。

〔注〕 1 小野篁——平安前期の公卿。漢詩、和歌にすぐれ、少年時代から嵯峨帝に目をかけられた

2 さが——人間の性分のこと。善悪の両方をいうが、ここでは「無悪善」のうち「悪」のみを「さが」と読ませている

3 片仮名の子文字——当時は片仮名のネに「子」の字を用いた。音はシ、訓はコ・ネ

問1 傍線部Aの活用の種類として、最も適切なものを次から選べ。

16

① サ行四段活用

② サ行上二段活用

③ サ行変格活用

④ サ行下一段活用

⑤ サ行五段活用

問2 傍線部Bの現代語訳として、最も適切なものを次から選べ。

17

① 申し上げますまい

② 申し上げなければよいものを

③ 申し上げとうございます

④ 申し上げてはなりません

⑤ 申し上げなさいませ

問3 傍線部Cの終止形「奏す」の現代語訳として、最も適切なものを次から選べ。

18

① いらっしゃる

② 申し上げます

③ いただく

④ 参上する

⑤ おっしゃる

問 4 傍線部Dの現代語訳として、最も適切なものを次から選べ。

19

① そうではあるが

② それにしても

③ そうならば

④ そのうえ

⑤ それゆえ

問 5 傍線部Eについて、なぜこのように言ったのか。最も適切なものを次から選べ。

20

① 内裏に「無悪善」という札が立つという凶事は、嵯峨帝の御代になって初めてのことだったから

② 「無悪善」の文字を読むよう嵯峨帝から何度も促されないと読まなかった小野篁の態度が不敬だから

③ 「無悪善」の札は、この世に当然あるはずの善悪を無いものとしており、道理にかなわず不吉だから

④ 「無悪善」の「さが」を「嵯峨」に掛けて読めば「嵯峨帝はいなくていい」という意味になるから

⑤ 「無悪善」を「悪無くて善からん」と読ませることで、嵯峨帝の悪事が露見することになったから

問 6 空欄Fに入る言葉として、最も適切なものを次から選べ。

21

① ず

② む(ん)

③ め

④ べき

⑤ ざり

問7 空欄Gに入る言葉として、最も適切なものを次から選べ。

22

① つれ

② つる

③ たり

④ つ

⑤ ける

問8 波線部aとbの主格はそれぞれ誰か。最も適切なものを次から選べ。

23

① a 小野篁 b 嵯峨帝

② a 御門 b 小野篁

③ a 公卿 b 御門

④ a 嵯峨帝 b 嵯峨帝

⑤ a 小野篁 b 小野篁

問9 傍線部Hについて、なぜこのような態度をとったのか。最も適切なものを次から選べ。

24

① 十二文字の「子」の字を小野篁が機転を利かせて読んでみせたことに感心したから

② 小野篁が飼っている十二匹の猫や子猫、獅子や子獅子の話が可愛らしかったから

③ 内裏の札に小野篁が「子」の字を十二文字も書き付けた様子が面白かったから

④ 十二文字の「子」の字を小野篁が読み間違えたことが小気味よかったから

⑤ 「無悪善」は読めなかったのに「子」の字は読めた嵯峨帝が気の毒だったから

問
10

傍線部Ⅰの文法的説明として、最も適切なものを次から選べ。

25

- ① 断定の助動詞「なり」の連用形＋過去の助動詞「けり」の終止形
- ② 強意の助動詞「ぬ」の連体形＋詠嘆の助動詞「けり」の連用形
- ③ 完了の助動詞「ぬ」の連用形＋過去の助動詞「けり」の終止形
- ④ 完了の助動詞「ぬ」の未然形＋過去の助動詞「けり」の終止形
- ⑤ 断定の助動詞「なり」の連用形＋詠嘆の助動詞「けり」の已然形